



Title	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP : 世界へ伝える・未来へつなぐ
Citation	学術成果のオープンアクセスとHUSCAP : 世界へ伝える・未来へつなぐ (Open Access and HUSCAP : Provision to the World, Passage to Future Generations). 北海道大学附属図書館 本館 正面玄関ホール (展示) . 2013年10月21日 (月) ~ 11月4日 (月・祝) . 札幌市.
Issue Date	2013-10-21
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/57903
Type	lecture
File Information	OpenAccessWeek_01.pdf



[Instructions for use](#)

学術成果のオープンアクセスと HUSCAP

世界へ伝える・未来へつなぐ

オープンアクセスとは？ 障壁のない学術成果へ

オープンアクセスとは、学術雑誌論文やその他の学術成果を、インターネットを通じて経済的、法的、技術的な障壁なく利用できるようにすることと定義されています。

背景には、学術雑誌価格の高騰や出版社への著作権委譲（論文の著者は著作権を委譲するため、再利用するために出版社の許可が必要）といった問題があります。

その定義は、BOAI(ブダペスト・オープンアクセス・イニシアチブ)で2002年に明確化されました。2012年には新たにBOAI 10が発表されています。



オープンアクセスのふたつの道 セルフ・アーカイブとオープンアクセスジャーナル

セルフ・アーカイブとは？

BOAIの提唱するオープンアクセス実現手段のひとつで、著者が研究機関・教育機関の電子アーカイブに論文を登録し、オンラインで公開することです。セルフ・アーカイブとも呼ばれます。

低コストで実現できることが期待されていますが、登録率の伸び悩みという課題があります。

北海道大学附属図書館では、セルフ・アーカイブを進めるため、**HUSCAP**を運営しています。

オープンアクセスで なにが起こるか？

大学や研究機関に属さない人々、一般市民が学術情報を入手する機会を得ることが期待されます。一方、大学の研究者からは、障壁の影響を受けることなく、多くの研究者に情報を発信することができるようになります。

高校生がすい臓がんの検査法を発見

アメリカの高校生ジャック・アンドラカ君がすい臓がんの検査法を発見した背景に、オープンアクセスがあります。米国国立衛生学研究所のアーカイブPMC (PubMed Central) でオープンアクセスになった論文を活用し、このような成果を上げたそうです。

"Open Access Empowers 16-year-old Jack Andraka to Create Breakthrough Cancer Diagnostic". Right to Research Coalition. 2013-06-11. <http://www.righttoresearch.org/blog/open-access-empowers-16-year-old-to-create-breakth.shtml>, (accessed 2013-10-10).

オープンアクセスジャーナルとは？

もう一つの方法は購読料に拠らない雑誌、オープンアクセス・ジャーナルの発行です。その出版コストは多くの場合、著者の投稿料によりまかなわれています。

多くの雑誌がクリエイティブコモンズ・ライセンスを採用し、再利用しやすい仕組みを取り入れています。

学術成果のオープンアクセスと HUSCAP

世界へ伝える・未来へつなぐ

HUSCAP

北海道大学学術成果コレクション

北海道大学に所属する研究者の皆さまの研究
成果の電子ファイルをご提供いただき、図書館資料と
して大切に保存するとともに、ウェブで本文を無料
公開して論文等の可視性を高めるお手伝いをする
ものです。

HUSCAP <http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>



HUSCAPのねらい

HUSCAPのねらい

1. 研究成果を大切に保管し、後世へ継承します。
2. オープンアクセス化により、より多くの読者に研
究成果を届けることができます。

また、

- 研究成果の社会還元
 - 教育・研究資源の共有化
 - 大学法人としての本学のアカウンタビリティの向
上
 - 学術情報流通のオープン化
- の実現に寄与できるものと考えています。

著作文献をHUSCAPで公開するには

まず、メールで論文をお知らせください

HUSCAPに登録したい論文等のファイル(PDF,
Word等)をEメールでお送りください。

附属図書館では、出版社の著作権上のポリシーを
確認し、問題がない形で**HUSCAP**に登録・公開し
ます。

ご寄贈いただいた文献が何回ダウンロードされた
か、毎月メールでお知らせしています。

(詳しくはチラシをご覧ください)

HUSCAPと著作権

ジャーナルに掲載された論文の多くは出版社に
著作権が委譲されていますが、例えば海外では大
手出版社を含む9割の主要ジャーナルが、掲載論
文を**HUSCAP**のような電子コレクションで公開する
ことを認めています。また、出版社の方針が不明な
場合は図書館が問合せ、了解を得た上で公開して
います。

共著者がいる場合は、**HUSCAP**での公開につい
て問題が生じないよう、あらかじめ調整をお願いし
ます。